

建築設計・キリスト教伝道・医療・教育・実業を横断的に展開したヴォーリズは、建築家としてはコロニアルやスパニッシュなどの西洋様式で学校・教会・住宅など多数を設計し、地域の景観に大きな影響を与えました。

また 素描・詩作、オルガン演奏に秀で、讃美歌や同志社カレッジソングなどの作詞作曲を手掛け、ハモンドオルガンを日本に紹介したことでも知られる。

1. 経歴

- 1880年(明治13年) ; 米国カンザス州生まれ
- 1900年(明治33年) ; コロラドカレッジ入学、当初は建築家志望で建築設計を自習していたが、YMCA (Young Men's Christian Association)の活動をする中で 外国伝道を決意。
- 1905年(明治38年) ; 滋賀県立商業高校にYMCA派遣の英語教師として来日。
- 1907年(明治40年) ; 自ら設計した近江八幡YMCA会館が完成するも、伝道に反対する父兄により解任。自費で伝道を続ける資金源としてミッション関係者向けに建築設計を開始。
- 1910年(明治43年) ; 「ヴォーリズ合名会社」を設立、また伝道活動を「近江ミッション(基督教伝道団)」と称す。
- 1913年(大正 2年) ; 日本でのメンソレータム販売代理店になる。
- 1918年(大正 7年) ; 結核療養所「近江療養院(近江サナトリアム)」を開設
- 1919年(大正 8年) ; 一柳子爵令嬢の満喜子(のちに近江兄弟社学園の創立し、学園長としてキリスト教教育と幼児教育の普及に尽力、特に未就学児教育の先駆者とされる)と結婚。
- 1920年(大正 9年) ; 「近江セールズ株式会社」を設立し、建築材料、家庭薬、鍵盤楽器などを輸入販売。
- 1922年(大正 11年) ; 清友園幼稚園、翌年 米原シオン幼稚園を開園。
- 1934年(昭和 9年) ; 「近江ミッション」を「近江兄弟社」に改称。
- 1941年(昭和 16年) ; 日本国籍を取得、一柳米来留(ひとつやなぎ めれる)に改名。
- 1945年(昭和 20年) ; マッカーサーと近衛文麿の仲介工作を行い、「天皇を守ったアメリカ人」と称される。
- 1964年(昭和 39年) ; 近江舞子にて83才で永眠。

2. 建築

* 近江八幡を中心にしながら軽井沢、東京、大阪と支所を増やし、日本各地で1,500程の建築設計を手掛ける。

* 設計の主たる特徴

- (1)西洋様式と和の調和:スパニッシュや英國風の意匠を日本の町並みや素材感と組み合わせる手法が多い
- (2)簡素で温かい意匠:華美さよりも「滋味深さ」「居心地の良さ」を重視した外観・内装が目立ち
- (3)装飾の意味づけ:装飾は単なる見栄えではなく、人と建物をつなぐ役割として用いられることが多い
- (4)公共性と機能性:学校、病院、教会、商業施設など公共的用途での実用性を重視した設計が多い

* 主たる建築(現存数は200ほど)

(滋賀県)・豊郷小学校(犬上郡)・ヴォーリズ記念館、旧八幡郵便局、ウォーターハウス記念館(近江八幡)
・旧百三十三銀行、今津郵便局(高島市)・大津教会(大津市)・水口教会(甲賀市)

(京都府)・東華会館、御幸町教会、京大YMCA会館、同志社アーモスト館・啓明館、駒井家住宅(京都市)

(大阪府)・大丸心斎橋店、大阪教会、大阪医科大学、博愛社礼拝堂(大阪市)

(兵庫県)・関西学院大学、神戸女学院(西宮市)旧ユニオン教会、六甲山荘、ナショナルシティ銀行社宅(神戸市)

(東京都)・明治学院礼拝堂、山の上ホテル、早稲田奉仕園スコットホール、麻布南部坂教会(都区内)

(長野県)・軽井沢ユニオンチャーチ、睡鳩荘、軽井沢集会場、亜武巣之荘(軽井沢)